



# BODiBEAT

BODY. MUSIC. IN SYNC.

BF-1

## BF-1クイックガイド

本書の4～5ページには「安全上のご注意」が記載されています。BF-1のご使用前に、必ずお読みください。

## はじめに

このたびは、インタラクティブミュージックプレーヤーBODiBEAT BF-1をお買い上げいただきまことにありがとうございます。

BF-1を手にしたあなたは、きっと「音楽を聴きながら楽しく運動したい!」とまっていることでしょう。BF-1には、楽しくそして効果的な運動をするためのさまざまな機能が含まれています。BF-1の優れた機能を十分に生かして、安全に運動をお楽しみください。



## 特長

- 音楽と運動の一体感を実現——フリーワークアウトモード  
自分のペースで運動すれば、BODiBEATが自動的に運動に合ったテンポの曲を再生します。  
(→12ページ)
- 効果的な有酸素運動をサポート——フィットネスモード  
再生される曲のテンポに合わせて運動するだけで、自動的に効果的な有酸素運動ができます。  
(→13ページ)
- コンピューター上で必要なデータを一元管理  
付属ソフトウェアBODiBEAT Stationを使うと、運動ログや曲データ、トレーニングプログラムの管理が簡単に行なえます。(→18ページ)

## 付属品



アームバンド



イヤフォン  
(脈拍センサー付)



イヤークッション



USB  
ケーブル



保証書



ケーブルクリップ



スタートアップガイド



クイックガイド



CD-ROM



ユーザー登録カード

## もくじ

安全上のご注意	4
ご使用前の準備	6
運動しながら音楽を聴く	12
コンピューターと接続する	18
BF-1をミュージックプレーヤーとして使う	22
いろいろな設定	23
メニュー一覧	24
仕様	25

## BF-1取扱説明書(PDF)について

付属CD-ROM内には、BF-1取扱説明書(PDFファイル)が収録されています。本機の機能の詳細を説明していますので、さらに詳しい使い方を知りたい場合にご活用ください。

(PDFファイルをご覧になるには、コンピューターにAdobe Reader(無償)がインストールされている必要があります。お持ちでない方は、Adobe社のウェブサイト  
<<http://www.adobe.co.jp/>>からダウンロードしてください。)

- ヤマハ(株)および第三者から販売もしくは提供されている音楽/サウンドデータは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。
- この取扱説明書の著作権はすべてヤマハ株式会社が所有します。
- この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。
- 本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

# 安全上のご注意



ご使用前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。  
お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

## ⚠ 危険

- ⊘ この製品を分解したり改造したりしない。  
発熱、発火、破裂などの原因になります。異常を感じた場合など、点検や修理は、巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点にご依頼ください。
- ⊘ 水に入れない。  
発熱、発火、破裂などの原因になります。
- ⊘ 火に入れたり、本体の近くに火気のあるものを置いたりしない。  
発熱、発火、破裂などの原因になります。
- ⊘ ストープの近くや日中の車内など、極端に温度が高くなるところで、使用、充電、放置しない。  
発熱、発火、破裂などの原因になります。使用や充電は0~40℃で、保管は-10~45℃の環境で行なってください。
- ⊘ 車やバイク、自転車の運転中にイヤフォンを使用したり、画面を見たり、細かい操作をしたりしない。  
事故の原因になるだけでなく、地域によっては違法となる場合があります。
- ⊘ 運動中は、画面を注視したり細かい操作をしたり、周囲の音が聞こえないほどの大音量で使用したりしない。  
周囲の交通状況や路面状態に十分に気を配り、事故にあわないようご注意ください。

- ❗ 使用中に音が出なくなったり異常なおいや煙が出たりした場合は、すぐに電源スイッチを切る。  
感電や火災、または故障のおそれがあります。  
至急、巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。

## ⚠ 警告

- ❗ 体調に不安のある場合は、運動前に医師に相談する。  
持病のある方や妊娠中の方など体調に不安のある方は、運動内容や運動時間について事前に医師と相談し、適切な運動を行なうようにしてください。
- ❗ 運動中に具合が悪くなったり、音楽に合わせて運動するのがつらくなったら、ただちに運動を中止する。  
安全な場所で休息を取り、不調が続くようであれば医師の診察を受けてください。
- ❗ 運動時はイヤリングやピアスなど、耳につけるアクセサリーを外す。  
耳にアクセサリーをつけていると、脈拍センサーの誤動作により適切な運動ができないおそれがあります。
- ⊘ 乳幼児の手の届くところに放置しない。  
小さな部品を誤飲するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

- ⊗ 内部に金属や紙片などの異物を入れない。  
感電、ショート、火災や故障の原因になります。  
入った場合は、すぐに電源を切り、巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。
- ❗ (別売電源アダプター使用時) 電源は必ず交流100Vを使用する。  
エアコンの電源など交流200Vのものがあります。  
誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。
- ❗ (別売電源アダプター使用時) 電源アダプターは、必ず指定のもの(PA-U010)を使用する。  
異なった電源アダプターを使用すると、故障、発熱、火災などの原因になります。
- ❗ (別売電源アダプター使用時) 電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。  
感電やショートのおそれがあります。

## ⚠ 注意

- ⊗ 温度が極端に低いところやほこりの多いところで、使用、充電、放置しない。  
故障や誤動作の原因になります。
- ⊗ 本体の上から荷重をかけたり、スイッチ、端子やイヤフォンケーブルなどに無理な力を加えない。  
けがや故障の原因になります。
- ⊗ 濡れた手で端子部を触らない。  
端子部から内部に水が入り、故障の原因になります。
- ❗ イヤフォンケーブルが体にかんだり、周囲のものに引っかからないよう注意する。  
けがや故障の原因になります。
- ⊗ 大きな音量で長時間使用しない。  
聴覚障害の原因になります。

- ❗ 皮膚に異常や不快感を感じたら、ただちに使用を中止する。  
お客様の体質や体調によっては、まれに皮膚にかゆみやかぶれを生じる場合があります。そのような場合は、ただちに使用を中止し、医師の診察を受けてください。
- ❗ (別売電源アダプター使用時) 長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。  
感電や火災、故障の原因になることがあります。
- ⊗ (別売電源アダプター使用時) 充電しながら運動しない。  
本体の誤動作により適切な運動ができない場合があります。また、ケーブルがからまり、けがの原因になります。
- ⊗ 本体を手入れするときは、ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどは使用しない。  
変色/変質の原因になります。お手入れには、乾いた柔らかい布をご使用ください。

- 不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。
- 本製品を使用しながら運動を行なう場合は、お客様の責任で体調管理を行なってください。運動中に体調に異常をきたした場合は保障はいたしかねます。



Li-ion

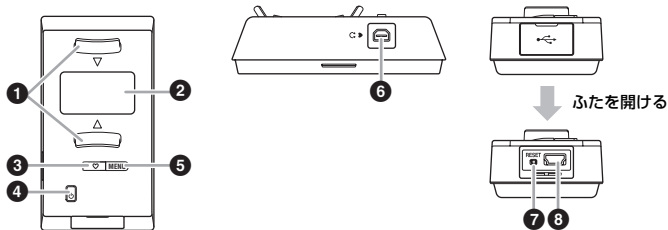
本機にはリチウムイオン電池が使用されています。リチウムイオン電池はリサイクルできます。お客様自身で電池を取り外すことはできませんので、本機が不要になったら、巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点にご依頼ください。

\* この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づいたクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

# ご使用前の準備



## 各部の名称



① ▲/▼(上/下)ボタン(→8ページ)

② ディスプレイ

③ LED

赤: きつい運動

緑: 効果的な酸素運動

青: 軽い運動または運動していない

④ 電源ボタン

電源のオンオフや、ホールド機能のオンオフをします。長押し(2秒以上)すると、すぐに電源が切れます。

⑤ [MENU](メニュー)ボタン  
(→8ページ)

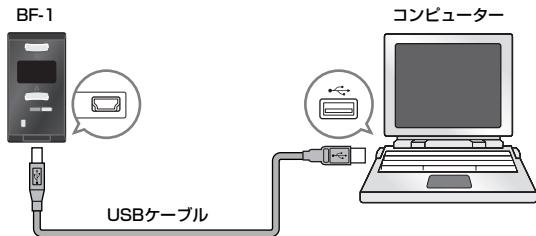
⑥ イヤフォン端子(→10ページ)

⑦ [RESET](リセット)スイッチ

⑧ USB端子(→7ページ、19ページ)

## 充電する

購入後、初めてBF-1を使う前には、BF-1を充電する必要があります。  
 付属のUSBケーブルで、起動しているコンピューターにBF-1を接続します。(→19ページ)



### ⚠ 危険

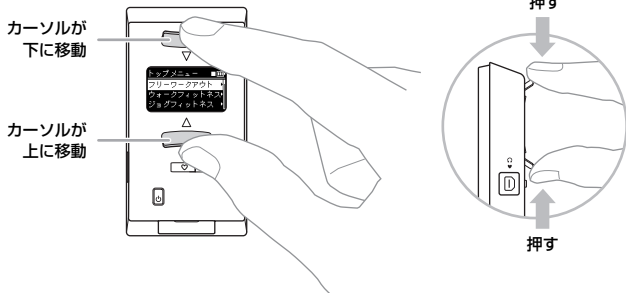
コンピューターとの接続は、必ず0～40℃の環境で行なってください。高温の環境で充電すると、発火などのおそれがあります。

充電中は、充電中アイコン(🔋)が表示されます。充電が完了すると、フル充電アイコンに変わります。

BF-1の使用中は、画面の右上に表示されるアイコンで電池残量を確認できます。



## 基本操作



### ■ メニューを選ぶ

- ▲(上)ボタン: カーソル(反転位置)が上に移動します。
- ▼(下)ボタン: カーソル(反転位置)が下に移動します。
- ▲/▼(上/下)ボタン同時押し: 選んだメニューが確定されます。

### ■ 設定値を変更する

- ▲(上)ボタン: 設定値を大きい値に変更します。
- ▼(下)ボタン: 設定値を小さい値に変更します。
- ▲/▼(上/下)ボタン同時押し: 設定値が確定されます。確定すると、カーソルが自動的に次の項目に移動します。

### ■ 操作をキャンセルして前の画面に戻る

- [MENU]ボタン: 前の画面に戻ります。
- [MENU]ボタン長押し(2秒以上): トップメニューに戻ります。



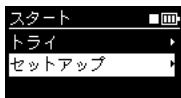
## 電源を入れる～初期設定をする

初めてBF-1の電源を入れたときには、初期設定を行なう画面が表示されます。BF-1の機能を効果的に使用するために、初期設定を行ないましょう。

### 1 電源ボタンを押して、電源を入れます。

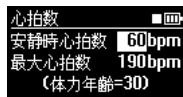
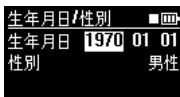


### 2 言語を選び、▲/▼(上/下)ボタンを同時に押します。

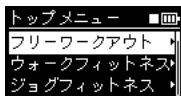


### 3 「セットアップ」を選んで初期設定を開始します。

以下の画面が順番に表示されます。



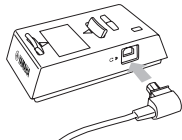
これで初期設定はすべて終わり、BF-1のトップメニューが表示されます。



さっそくBF-1を使って、運動を開始しましょう!

## アームバンドの装着

- 1 イヤホン端子にイヤホンケーブルを接続します。

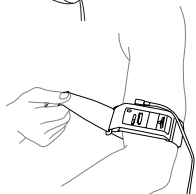


- 2 本体をアームバンドにセットします。



- 3 アームバンドをゆるめ、左腕を通します。

- 4 二の腕でアームバンドをとめます。  
ディスプレイが見やすいよう、位置を調節してください。



### **R** 重要

二の腕以外の場所(首や手首、足など)には装着しないでください。

本体をアームバンドから取り外すには...

アームバンドの受け皿についているツメを下に押し、本体を持ち上げます。



## イヤフォンと脈拍センサーの装着

- 1 イヤフォンケーブルを耳の上にかけます。
- 2 イヤフォンを耳に入れます。
- 3 イヤフォンの角度を調節します。
- 4 左の耳たぶに、脈拍センサーをつけます。
- 5 ケーブルのスライダーを頭の方向に移動します。  
快適な位置に調整してください。



### ケーブルクリップを使うには...

イヤフォンケーブルが長すぎる場合は、付属のケーブルクリップで余ったケーブルを束ねておきます。ケーブルクリップでケーブルを服に留めることもできます。



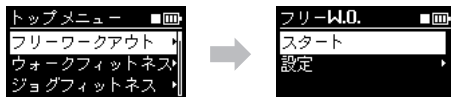
# 運動しながら音楽を聴く



## 自由なペースで運動する—フリーワークアウトモード

フリーワークアウトモードでは、自由なペースで運動すれば、BF-1が自動的に運動ペースに合った音楽を再生します。自分のステップと音楽のテンポが合う一体感で、ウォーキングやジョギングがますます楽しくなります。

### 1 トップメニューから「フリーワークアウト」を選びます。



### 2 「スタート」を選び、ウォーキング/ジョギングを開始します。

自由なペースで運動しましょう！あなたの走る(または歩く)速さに合ったテンポの曲が自動的に再生されます。

運動中の操作については14ページをご覧ください。

### 3 運動を終了するには、▲/▼(上/下)ボタンを同時に長押し(2秒以上)します。

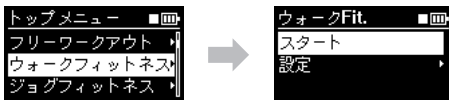
曲再生が停止してログ表示画面が現れます。(→17ページ)

運動の前に目標設定をしておくこともできます。(→15ページ)

## 最適なペースで運動する—フィットネスモード

フィットネスモードでは、流れてくる音楽のテンポに合わせて運動するだけで、効果的な有酸素運動が行なえます。脈拍センサーで運動中の心拍数を測定することで、運動の負荷が適切かどうかをBF-1がリアルタイムで判断し、状況に合った音楽が自動的に再生されます。

- 1 トップメニューから、「ウォークフィットネス」(ウォーキングしたいとき)または「ジョグフィットネス」(ジョギングしたいとき)を選びます。



- 2 脈拍センサーをつけます。

- 3 「スタート」を選び、ウォーキング/ジョギングを開始します。

流れてくる曲のテンポに合わせて運動しましょう！効果的な有酸素運動のペースで運動できます。

運動中の操作については14ページをご覧ください。

### ⚠ 警告

もしも運動がきつすぎると感じた場合は、無理して曲に合わせようとせず、テンポを下げるか、運動をやめて休憩を取ってください。

- 4 運動を終了するには、▲/▼(上/下)ボタンを同時に長押し(2秒以上)します。

クールダウンが始まります。クールダウンが終わると、曲再生が停止してログ表示画面が現れます。(→17ページ)

運動の前に目標設定をしておくこともできます。(→15ページ)

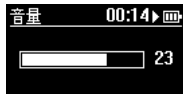
## 運動中の操作

### ■ 曲再生を一時停止する

▲/▼(上/下)ボタンを同時に押します。曲再生と運動が一時停止状態になります。もう一度▲/▼(上/下)ボタンを同時に押すと、再生を再開します。

### ■ 音量を変える

▲(上)ボタンまたは▼(下)ボタンを押して、音量画面を表示させ、▲/▼(上/下)ボタンで音量を変更します。



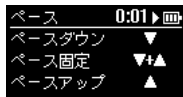
### ■ 曲を変更する

運動中に[MENU]ボタンを押して曲選択画面を表示させます。▼ボタンで別の曲に切り替えます。▲ボタンで現在の曲をはじめから再生します。



### ■ ペースを変更する/固定する

運動中に[MENU]ボタンを2度押してペース画面を表示させます。▼または▲ボタンでペースを変更します。▲/▼ボタンを同時に押すと、現在のペースに固定します。



## 目標設定

運動を始める前に、運動の目標を決めておくことができます。時間や距離、消費カロリーのいずれかで目標を決めておくと、目標に到達したら自動的に曲再生が終わり、目標を達成したことをBF-1が教えてくれます。

**1** 12ページの手順2または13ページの手順3で、「設定」を選びます。

**2** 「時間」「距離」「カロリー」から、目標として設定したい項目を選びます。

### 時間

設定値: 10、20、30、45、60、90 (分)、カスタム

### 距離

設定値: 3、5、10(km)、ハーフマラソン、マラソン、カスタム

表示単位を「マイル」にした場合: 2、5、10 (マイル)、ハーフマラソン、マラソン、カスタム

### カロリー

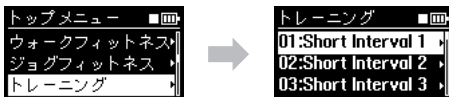
設定値: 100、300、500、700、1000 (kcal)、カスタム

カスタムを選ぶと、好きな値を入力できます。

## プログラムに沿って運動する—トレーニングモード

トレーニングモードでは、あらかじめ作成されたプログラムに沿ったテンポの曲が、自動的に再生されます。再生される音楽のテンポに合わせて走るだけで、計画通りのトレーニングが行なえます。

トップメニューから「トレーニング」を選びます。



あらかじめ用意された9つのプリセットプログラムから好きなものを選んですぐに運動を開始したり、自分でオリジナルのプログラムを作成したりできます。各トレーニングプログラムは、複数のインターバルで構成されており、各インターバルの長さ(時間または距離)とターゲット(運動強度)は自由に設定できます。

**インターバル:** 時間、距離

**ターゲット:** ペース(分:秒/km)、テンポ(bpm)、HR(心拍数; bpm)、%HRR(最大心拍予備能; %)

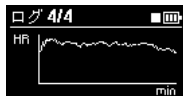
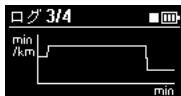
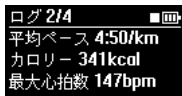
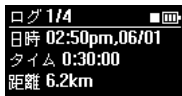


プリセットプログラムの内容や、トレーニングプログラムの作成方法など、トレーニングモードの詳細については、20ページの注意や、CD-ROM内のBF-1取扱説明書、BODiBEAT Station取扱説明書をご覧ください。



## 運動のあとに

運動が終わると、その運動の結果(ログ)が表示されます。ログ表示画面は4ページあるので、▲/▼(上/下)ボタンを使って画面を切り替えます。

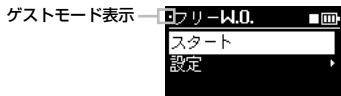


ログ画面から抜けるには、[MENU]ボタンを押します。

ログデータは、トップメニューから「データ」を選ぶことでいつでも確認できます。1日、1週間、1か月単位での累計を確認することもできます。

## BF-1をゲストモードで使用する

初期設定の画面(9ページ)で「トライ」を選んだり、トップメニューから「ゲスト」を選んだりすることで、BF-1をゲストモードで使用できます。ゲストモードでは、フリーワークアウトモードとフィットネスモードを試すことができます。ゲストモード中は、タイトルの前に「・」が表示されます。



ゲストモードから抜けるには、[MENU]ボタンを長押し(2秒以上)します。

# コンピューターと接続する



## 付属ソフトウェア「BODiBEAT Station」について

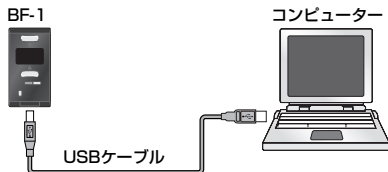
BF-1をコンピューターと接続して、付属ソフトウェア「BODiBEAT Station」を使用すると、運動結果をグラフで表示したり、トレーニングプログラムを作成/編集したり、曲データを管理したりできます。

### 動作環境

OS	Windows® XP Professional SP2/XP Home Edition SP2/Vista* (*32-bit Ultimate/Business/Home Premium/Home Basic/Enterprise Editionのみ)
対応コンピューター	USB端子を装備した1GHz以上のIntel® Pentium®およびCeleron® ファミリーのプロセッサを搭載したコンピューター
メモリー	Windows XP: 128MB以上(256MB以上推奨) Windows Vista: 512MB以上(1GB以上推奨)
ハードディスク	200MB以上の空き容量
ディスプレイ	1024×768ドット以上
サウンド	Windows対応のオーディオインターフェースまたはサウンドカード (Windows Media® Playerがインストールされていること)

## 接続方法

付属のUSBケーブルを使って、BF-1とコンピューターを接続します。コンピューターと接続している間は、BF-1はPCモードとなり、ボタン操作を受け付けなくなります。



### ⚠ 注意

- 接続中にコンピューターを省電力モードにしないでください。BF-1がハングアップしてデータが失われたり、放電して電池が消耗したりするおそれがあります。
- USBケーブルは、必ず付属のものを使用してください。異なるケーブルを使用すると、端子の破損や故障につながるおそれがあります。
- データの転送中は、絶対にUSBケーブルを抜かないでください。データが失われたり、本体が正常に動作しなくなるおそれがあります。

BF-1をコンピューターから取り外すには...

- 1 Windowsタスクバーの「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをダブルクリックします。  
ハードウェアの安全な取り外しダイアログが表示されます。
- 2 「デバイスコンポーネントを表示する」にチェックが入っていることを確認してから「Yamaha BODiBEAT USB Device」を選び、[停止]をクリックします。  
ハードウェアデバイスの停止ダイアログが表示されます。
- 3 ハードウェアデバイスの停止ダイアログで[OK]をクリックします。
- 4 USBケーブルをコンピューターから外します。

# BODiBEAT Stationのインストール

## 重要

ソフトウェアをインストールする前に必ず、CD-ROMに入っている「ソフトウェア使用許諾契約」をお読みください。インストールされた場合には、ご使用条件にご同意いただけたものとさせていただきます。

### 1 付属CD-ROMをコンピューターのCD/DVDドライブに入れます。

コンピューターの画面上に、スタート画面が表示されます。

(スタート画面が表示されない場合は、マイコンピュータからCD-ROMの入っているドライブを選び、Setup.exeをダブルクリックして手順3に進んでください。)

### 2 スタート画面上の「BODiBEAT Stationのインストール」をクリックします。

インストールが開始されます。「BODiBEAT本体を接続してください」というメッセージが表示されたら、付属のUSBケーブルでBF-1をコンピューターに接続します。

### 3 画面の指示に従って、インストールを実行します。

## 注意

BODiBEAT Stationをインストールしたコンピューターに初めてBF-1を接続すると、BF-1トレーニングモードのプリセットプログラムの内容はBODiBEAT Station上の情報に上書きされます。

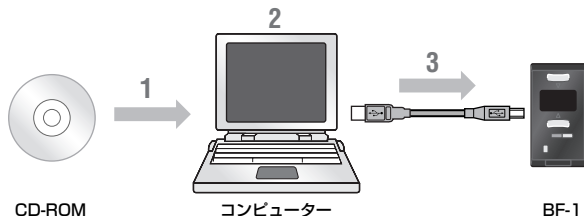
BF-1上でプリセットプログラムの内容を変更してあった場合、変更内容は失われますので、あらかじめコピー機能を使って別のプログラムとして保存しておくことをおすすめします。(詳しい手順については、CD-ROM内のBF-1取扱説明書をご覧ください。)

## 曲データをBF-1に取り込む

お気に入りの曲をBF-1に取り込むと、運動中に再生させたり、音楽モードで聴いたりできます。

### NOTE

音楽CDから曲を取り込む場合は、あらかじめ、Windows Media Playerなどのソフトウェアを使って音楽CDの曲をコンピューター上に取り込んでおいてください。



- 1 付属ソフトウェアをコンピューターにインストールする
- 2 曲データをソフトウェア上にインポートする
- 3 曲データをBF-1本体に転送する

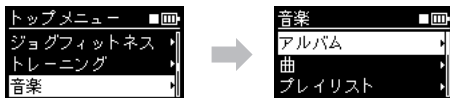
詳しい操作方法については、BODiBEAT Station取扱説明書をご参照ください。



## 再生する曲を選ぶ

音楽モードでは、一般的なミュージックプレーヤーと同じように、付属ソフトウェアを使って本体に取り込んだ曲を再生できます。

トップメニューから「音楽」を選びます。



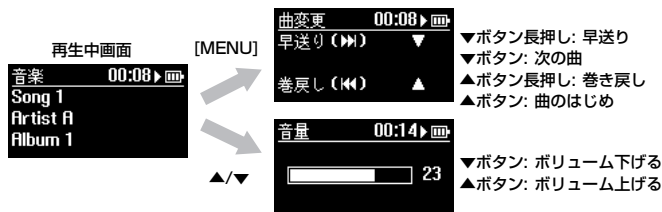
曲を選ぶ方法は、以下の3通りがあります。

**アルバム:** アルバム名を選び、そのアルバムの中の曲を再生します。

**曲:** BF-1に入っている全曲のリストから、再生したい曲を選びます。

**プレイリスト:** プレイリストを選び、そのプレイリストの中の曲を再生します。

再生中は、曲名とアーティスト名、アルバム名、経過時間などが表示されます。



曲を停止するには、▲/▼(上/下)ボタンを同時に長押し(2秒以上)します。

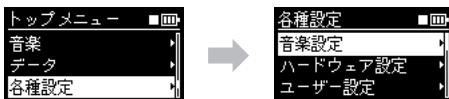
一時停止するには、▲/▼(上/下)ボタンを同時に押します。

# いろいろな設定



「各種設定」メニューからは、曲再生に関する設定や、機器の状態に関する設定、心拍数や生年月日などの個人情報に関する設定が行なえます。それぞれの項目は、音楽設定、ハードウェア設定、ユーザー設定の3種類に分類されています。また、BF-1のバージョン情報を確認するメニューや、すべての設定を初期値に戻す初期化メニューもあります。

トップメニューから「各種設定」を選びます。



各設定項目については、24ページのメニュー一覧およびCD-ROM内のBF-1取扱説明書をご覧ください。

# メニュー一覧



トップメニュー	フリーワークアウト		
	ウォークフィットネス		
	ジョグフィットネス		
	トレーニング		
	音楽	アルバム、曲、プレイリスト、再生中の曲	
	データ	ワークアウト、日、週、月	
	各種設定	音楽設定	ワークアウト音楽
			音楽優先度
			テンポガイド
			ハーフテンポ
			曲間
			再生時間
			音量調整
		プレイモード	リピート
			シャッフル
		ベースブースト	
	ハードウェア設定	センサー	脈拍センサー
			ステップセンサー
			ベースセンサー
		表示	メイン表示(運動中)
			単位
			言語
			表示時間
			明るさ調節
		日付/時間	
	ユーザー設定	心拍数	心拍数計測
			心拍数変更
		歩幅	
		体重/身長	
		生年月日/性別	
		学習機能	
	情報		
	初期化		
ゲスト	フリーワークアウト		
	ウォークフィットネス		
	ジョグフィットネス		



# 仕様



モデル	BF-1	
サイズ	75.7 x 38.0 x 20.1 mm	
質量	本体	65 g
	イヤフォン/ 脈拍センサー	22 g
音声出力	6.5 mW x 2 (33 Ω)	
周波数特性	20~20,000 Hz	
再生時間	約9時間(標準使用時) *ご使用状況によって異なります。	
電源	内蔵リチウムイオン充電式電池	
充電方式	USB (コンピューター接続または別売ACアダプター接続)	
フル充電時間	約3時間	
使用温度範囲	0~50℃ (充電時は0~40℃)	
ディスプレイ	1.0インチ 128 × 64 有機EL	
容量	512 MB	
対応オーディオファイル形式	MP3 (32~320 kbps、可変ビットレート) WMA (32~192 kbps、可変ビットレート) AAC (8~320 kbps、可変ビットレート) WAV	
端子	イヤフォン端子: 8-pin専用端子 USB端子: USB 2.0 (Hi-speed)	
付属ソフトウェア	BODiBEAT Station	

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

## 保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お近くのヤマハ電気音響製品サービス拠点にご連絡ください。

### ● 保証書

本機には保証書がついています。保証書は販売店がお渡ししますので、必ず「販売店印・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

### ● 保証期間

お買い上げ日から1年間です。

### ● 保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

### ● 保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。下記の部品については、使用時間や使用環境により劣化しやすいため、消耗に応じて部品の交換が必要となります。消耗部品の交換は、ヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

#### 消耗部品の例

ポリウムコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類、接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点、フロッピーディスクドライブなど

### ● 補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後6年です。

### ● 修理のご依頼

まず取扱説明書(付属CD-ROMに収録)の「困ったときは」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。それでも異常があるときは、最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へ修理をお申し付けください。

### ● 製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

## ヤマハ電気音響製品サービス拠点（修理受付および修理品お持込み窓口）

### ◆ 修理のご依頼/修理についてのご相談窓口

#### ヤマハ電気音響製品修理ご相談センター

受付時間 月曜日～金曜日 9:00～19:00、土曜日 9:00～17:30（祝祭日および弊社休業日を除く）

ナビダイヤル  
（全国共通番号）



市内通話料でOK  
ナビダイヤル

# 0570-012-808

※一般電話・公衆電話からは、市内通話料金でご利用いただけます。

（IP電話、携帯電話などからおかけになる場合TEL 053-460-4830）

FAX (053) 463-1127

### ◆ 修理品お持込み窓口

受付時間 月曜日～金曜日 9:00～17:45（浜松サービスステーションは8:45～17:30）  
（祝祭日および弊社休業日を除く）

\*お電話は、電気音響製品修理ご相談センターでお受けします。

#### 北海道サービスステーション

〒064-8543  
札幌市中央区南10条西1丁目1-50  
ヤマハセンター内  
FAX (011) 512-6109

#### 首都圏サービスセンター

〒143-0006  
東京都大田区平和島2丁目1-1  
京浜トラックターミナル内14号棟A-5F  
FAX (03) 5762-2125

#### 浜松サービスステーション

〒435-0016  
浜松市東区和田町200  
ヤマハ(株)和田工場内  
FAX (053) 462-9244

#### 名古屋サービスセンター

〒454-0058  
名古屋市中川区玉川町2丁目1-2  
ヤマハ(株)名古屋倉庫3F  
FAX (052) 652-0043

#### 大阪サービスセンター

〒564-0052  
吹田市広芝町10-28  
オーク江坂ビルディング2F  
FAX (06) 6330-5535

#### 九州サービスステーション

〒812-8508  
福岡市博多区博多駅前2丁目11-4  
FAX (092) 472-2137

\*名称、住所、電話番号などは変更になる場合があります。



## ◆BODiBEATに関するお問い合わせ窓口

BODiBEAT相談窓口

ナビダイヤル  
(全国共通番号)



市内通話料でOK  
ナビダイヤル®

0570-018-808

※一般電話・公衆電話からは、市内通話料金でご利用いただけます。

(IP電話、携帯電話などからおかけになる場合 TEL 053-460-2784)

受付日 月曜日～金曜日（祝日およびセンターの休業日を除く）

受付時間 10:00～12:00、13:00～18:00

<http://www.yamaha.co.jp/support/>

## PA・DMI事業部

### EKBマーケティング部 CL・PKグループ

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1

TEL (053) 460-3275

## BODiBEATウェブサイト

<http://www.yamaha.co.jp/product/bodibeat/>

## ヤマハマニュアルライブラリー

<http://www.yamaha.co.jp/manual/>

\*名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。